

いじめっ子倶楽部のSPH文庫

女子に負けてリングの上で全裸にされる話

【第2話】 屈辱のちん長測定

皆さんこんにちは。

私立空想学園大学・2年の原田里美です。

今日はこの前話した出来事...、私がマネージャーをしていたボクシング部のM男部長と、総合格闘技MMA同好会の京子さんとの試合...。

あの、続きをお話ししますね。

それまでM男部長が散々陰で馬鹿にしていた女子のMMA...、なんだけど、結果は惨敗。...というか、全く手も足も出せないまま一方的に痛め付けられて...。

本当はどちらかがダウンするまでって無茶なルールだったんだけど...なんと、部長ったら

泣きながら謝って...負けを認めちゃったの。
それだけでもかなりみっともないんですけど...、京子さんにですね...。
リングの上で...パンツを脱いで...、その...、お
ちんちん丸出しで謝ったら許してやるなんて
言われて...。
部長ったら...、京子さんやその取り巻きの女子
が恐くて逆らえなくて...。
まさかの...自分からパンツを脱いで謝ったん
ですよ...。
大勢の敵チームの女子部員たちに嘲笑われな
がら。
もちろん私達ボクシング部の後輩女子も全員
見ている前で...。

その後、私達ボクシング部側のリングサイド
にスッポンポンのまま無理矢理連れてこられ
て、気をつけをさせられて、おちんちんを晒
し者にされちゃったんです...私達に...。

そしたら...そのおちんちんを見て、私たちも

みんなびっくり...。

だって...そのおちんちんがですね？

すごく小さな可愛らしいおちんちんで...。

それに、全然皮も剥けてない...包茎で...。

しかも...まだ毛も生えていない子どもみたいな

そんな恥ずかしいおちんちんを隠すこともできないまま、リングの上で晒し者にされているM男部長...。

もう可哀想だし...それに見ているこっちが恥ずかしくなっちゃって、私...とても直視出来なくて...。

思わずその...京子さん達に言ったんですよ...。

「ちょ...ちょっと！

あなた達...！もう十分でしょ！？

お願いだからもう...許してあげて...！」

私がそう叫ぶと、京子さんはゆっくりこちら

を見ました。

「ああ？許してやれ...って？」

「だって...！

こ、こんな...。あれだけ一方的に痛めつけられて...その...、パ...パンツまで脱がされて...。こんな大勢の女子の前で...おちんちんまで丸出しで泣きながら謝らされて...。こんな惨めで恥ずかしい姿を晒し者にされるなんて...、いくらなんでも...可哀想過ぎて見てられないわ...！

あなた達もこれだけやればもう気が済んだでしょ！？」

私としては、本気で止めたつもりでした。けれど、その言葉は京子さんたちを止めるところか、さらに面白がらせてしまったみたいでした。

「www～！

おい？部長くん聞いた？

あんたんとこのマネージャーが許してあげて
～、だってさあ～www？

ねえ？一体どんな気分なのwww？

自分の後輩達の前でフルチンにされて...
www？

こんな恥ずかしいお子様チンポまで晒されて
さあ...www？ そんなみっともない姿見られ
ながら...こうやって惨めに同情されてる気分
はwww？」

M男部長は、何も言い返せませんでした。
顔を赤くして、肩を震わせて、ただうつむい
ているだけでした。

京子さんの横にいた女子が、部長を見下ろし
ながら笑いました。

「www～！こいつみっともな過ぎてウケる
んだけど～！ってか、こいつのチンポって、
マジで小さいよね～www？コレ？

一体何センチ～www？こんな小さなチンポ、初めて見たよ～www！」

そんな言葉を聞いた京子さんは

「あっ...！ そうだwww！
おい！ マネージャー！
許してやってもいいけどさあ、その前に
ちょっと定規持ってきてきな！」

「えっ...？ じょ...定規？ そ、そんなの何
に...？」

「いいから早くしな！ それともこいつのキン
タマ蹴り潰してやろうか！？」

「えっ！？ そんな...待って...！ ちょ...ちょっ
と...！

あ...、はい！ はい.....！
定規ですね！？」

私は慌ててリングを降りました。
本当は従いたくありませんでした。
でも、私が逆らえば、部長がまた酷い目に遭
わされる。
そう思い仕方なく言われた通りに....。

しばらくして、私は定規を持って戻りまし
た。

「あの...、持ってきました...定規...。」

「よし...じゃあ、...ちょっとそれ持ってリン
グに上がりな！
ほら！さっさとしろよ！
そうそう...www、よし...。
じゃあマネージャー、あんたこっち来てさ
www、その定規でコイツのチンポの長さ
測ってやりな...www！
そう、『ちん長測定』...、だよっwww
～！」